

愛媛県ノーリフティングケア 普及啓発モデル事業報告

医療法人 聖光会
老人保健施設 たかのご館

施設概要



* 入所： 80床
一般棟(2フロア) 31床・25床
認知症専門棟 24床

* 短期入所療養介護
(2床に加え空床利用)

* 通所リハビリテーション
定員 30名

* 訪問看護ステーション
たかのご館

【事前アンケート対象者】
介護 30名 看護 10名



応募の理由

- ▶ 腰痛者の増加による業務への支障
- ▶ 職員の高齢化
- ▶ 笑顔で負担が少なくケアができる施設にしたい



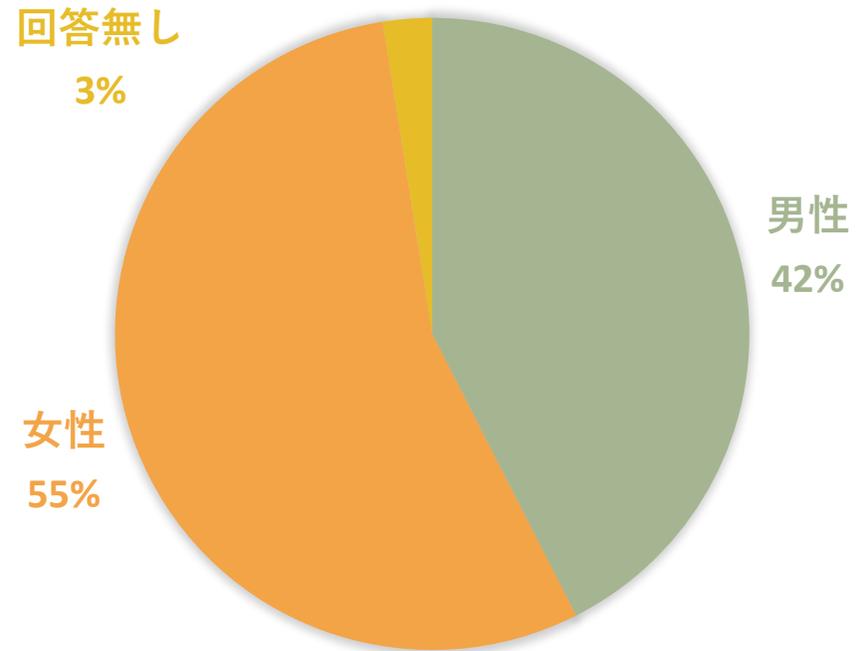
現在の課題

- ▶ 使用方法の周知
- ▶ 使用意識の薄れ
- ▶ 腰痛予防のひと手間を惜しむ傾向

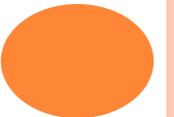
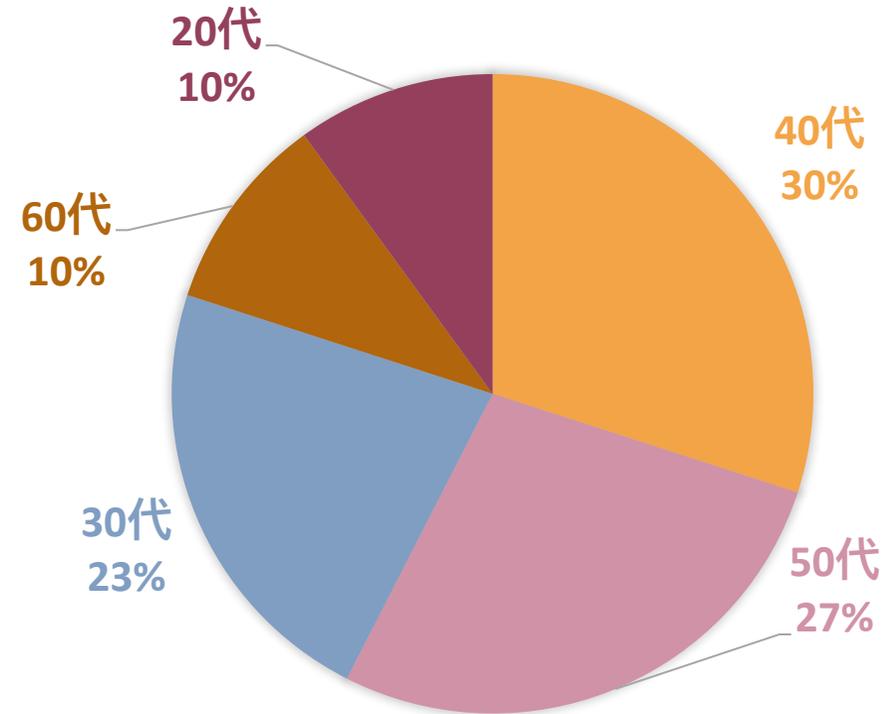


導入前アンケート①

性別

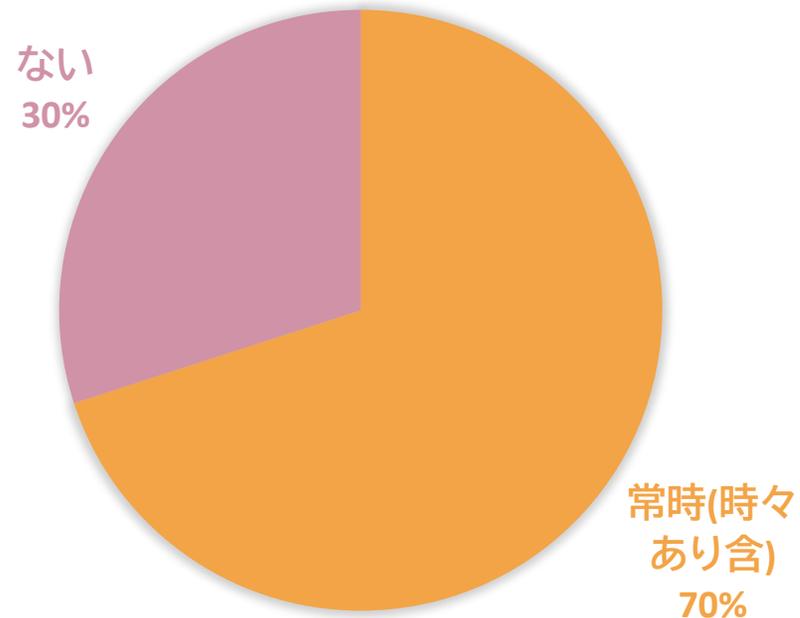


年齢

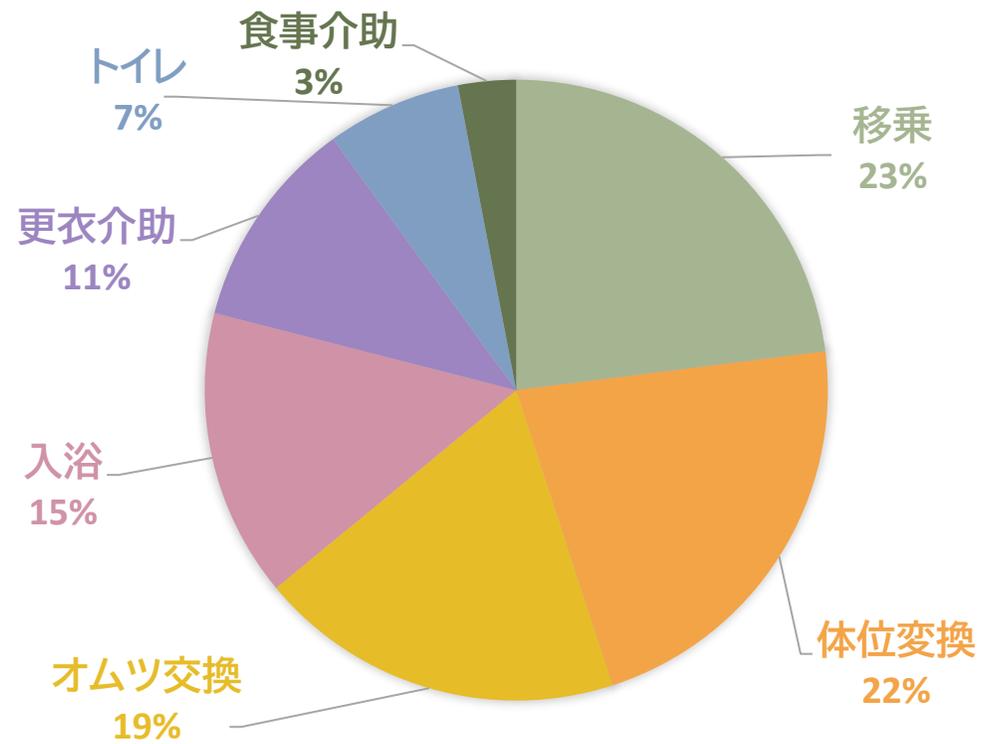


導入前アンケート②

現在の腰痛状況

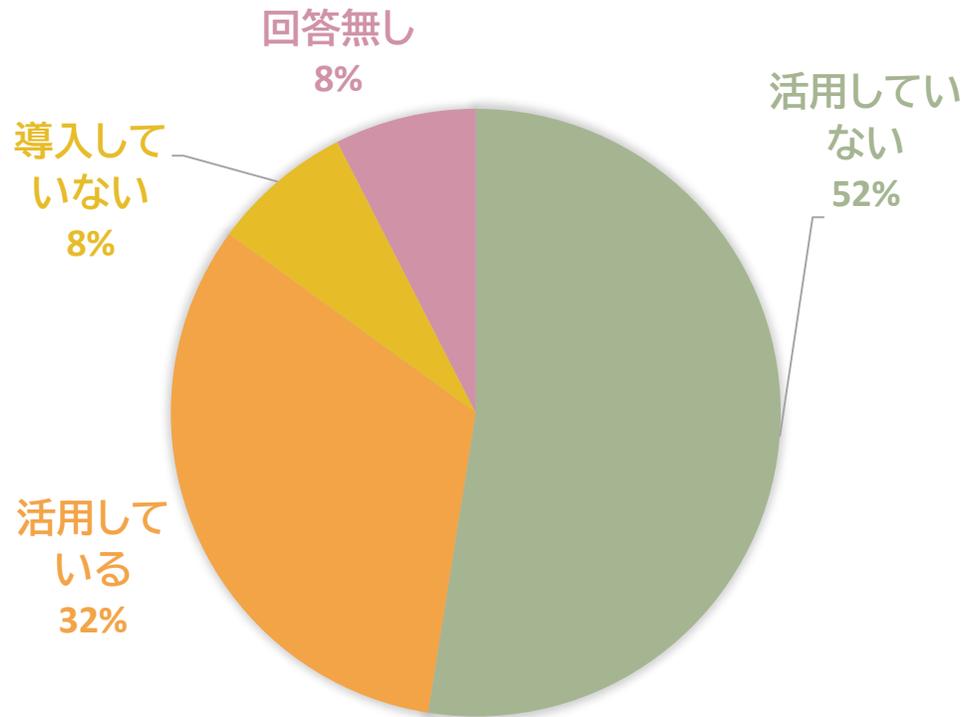


負担の大きい介助場面

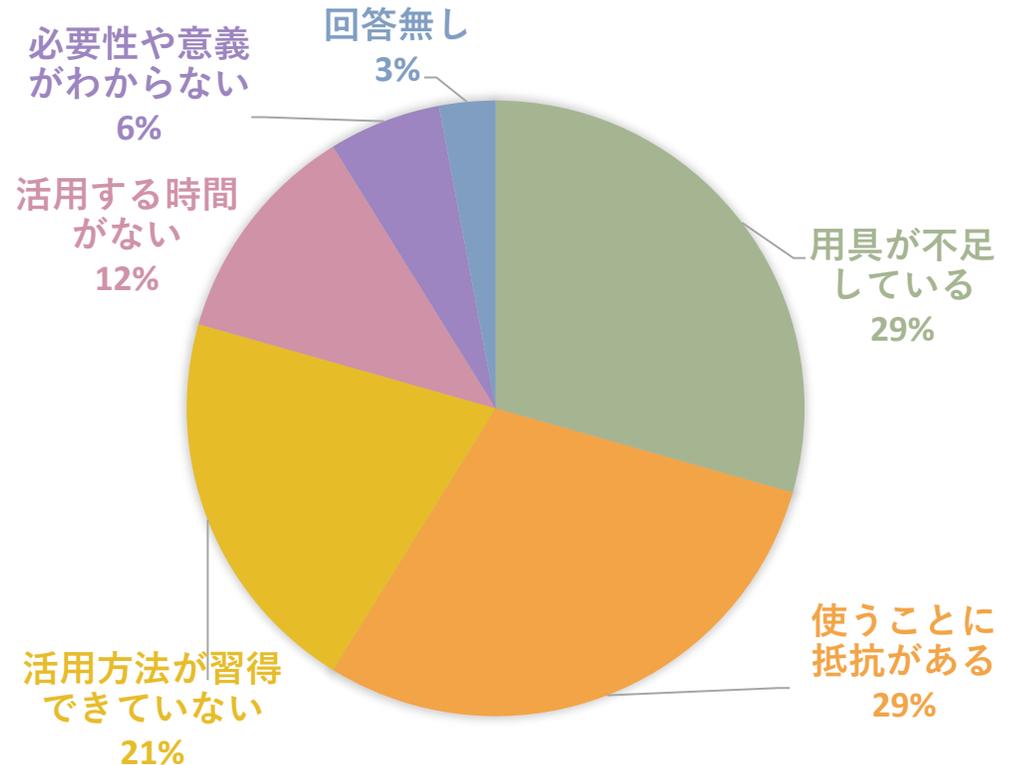


導入前アンケート③

福祉用具を導入しているか



活用していない要因



現在の福祉用具の状況

<ベッド>

電動ベッド 84

<車椅子>

ティルトリクライニング 14

スタンダード 23

モジュール 44

<その他>

電動リフト 1

イージーモーション 2

イージーグライド 2

移座えもん 5

スライディンググローブ 15



取り組み

- (1) ノーリフティングケア委員会の立ち上げ
- (2) 役職者向け周知
- (3) 導入前アンケート・要介護者別リスク見積もり
優先度チェックリスト等の作成
福祉用具機器導入計画表作成
ノーリフティング実施計画書作成
- (4) アドバイス研修
- (5) 個別研修①②



ノーリフティング実施計画書 ※R5.11月作成

| No | 課題 | 長期目標 | 期間 | 短期目標 | 期間 | 具体的内容 |
|----|---------------------|---------------------------------|------|-----------------------------|-----|--|
| 1 | ノーリフティングケアに対する意識の統一 | ノーリフティングケアを正しく理解し、施設全体の意識の統一を図る | 12ヶ月 | 委員会メンバーのノーリフティングケアに対する意識の統一 | 2ヶ月 | ① 委員会メンバーに対するノーリフティングケアの勉強会の実施 ② ノーリフティングケアの基本的な考え方を取り決めて共有する ③ 勉強会で得た知識・技術を各階の職員に伝達していく |
| 2 | 現在行っているケアの見直し | 正しい介護技術・知識を持ち利用者・職員共に安心安全な環境を作る | 6ヶ月 | 利用者1人1人に合わせた、安心安全な介助方法の策定 | 3ヶ月 | ① 現在行っている各担当利用者のケアを見直し、身体的に負担となっているケアを洗い出す ② 委員会メンバーと共に、適切な福祉用具の選択と、安全な介助方法を策定する |



ノーリフティング実施計画書 ※R6.2月作成

| No | 課題 | 長期目標 | 期間 | 短期目標 | 期間 | 具体的内容 |
|----|-----------------------------|--------------------------------|------|----------------------------|-----|---|
| 1 | 施設全体でのノーリフティングケアに対する意識の統一 | 施設全体のノーリフティングケアに対する意識の統一 | 12ヶ月 | ノーリフティングケア宣言を行い、全職員の理解を深める | 3ヶ月 | ① 主任会議でノーリフティングケアの取り組みについて報告し周知する ② 多職種によるノーリフティング委員会を設置し、定期的を開催する ③ 全職員に向けたノーリフティングの勉強会の実施 |
| 2 | 現在行っているケアの見直しを行い、介護負担を減らしたい | 必要な福祉用具を選定し、正しい使用方法を習得した介助が出来る | 6ヶ月 | 今ある福祉用具を使用して安心安全な介助が出来る | 3ヶ月 | ① 今行っているケアを見直し、身体的に負担になっているケアを洗い出す ② 今ある福祉用具の作業標準書の作成 ③ 福祉用具を使用した介助方法の策定 |

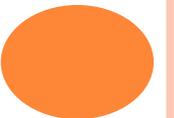


個別研修の様子



今後の課題

- ▶福祉用具を活用しない要因の改善
 - 用具不足
 - 用具を使うことへの抵抗
 - 活用方法の習得
 - 活用できるように、業務の見直し
- ▶ケアの見直し
 - 移乗、オムツ交換等
- ▶職員の姿勢の見直し
- ▶環境の整備
 - 居室、廊下、浴室、トイレ等

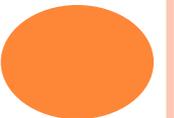


今後に向けて

【目標】

24時間でトータルセーフティケアができる

- ▶多職種で一緒に進めていく
- ▶協力してくれるスタッフを増やす
- ▶今回の研修で学んだことを継続していく



ご清聴ありがとうございました。



老人保健施設 たかのご館

